

# ProMED-mail 情報 2016年 3月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表 題	概 要
31日	髄膜炎菌による髄膜炎 ニジェール	2016年1月4日から3月13日までに、大量の予防接種にかかわらず、736人発症し、うち61人死亡。患者の35%は5歳から14歳までの子供。2015年は1月から6月までに8500人発症、うち573人死亡。
28日	ライム病 フィンランド	フィンランドの国立研究所は2015年の患者数は2000人未満と発表した。一方、感染症の専門家は、軽い症状の患者は慢性疾患と診断されることがあり、実際の患者数は8000人以上の可能性があると述べた。
23日	ボツリヌス症 台湾	2月25日、屏東県の66歳女性が発声困難と筋力低下の症状により入院。症状増悪し、3月9日診断確定。缶詰ウナギ、海藻醤油、魚のフロスが疑われたが、原因は不明。
23日	鳥インフルエンザH5N1 エジプト	2016年エジプトで4人目の感染者がギザで確認された。2016年の4人の感染者内訳はギザ2名、ソハーグ1名、カイロ1名。2015年は160人以上が感染。
22日	ヒトメタニューモウイルス オーストラリア	2月、クイーンズランド州ハーバートンの38床の高齢者ケア施設で、集団感染により7人の患者が死亡。
21日	ジフテリア ベルギー	3月6日、アントワープでワクチン接種していない3歳女兒が発症。5日後に集中治療室に入院、3月16日抗毒素を投与したが翌日死亡。
19日	インフルエンザH3N2(犬) 米国	インディアナ州の動物愛護協会は99匹の犬がH3N2感染を確認し施設を閉鎖。肺炎予防のため犬に抗生物質投与。
19日	ラッサ熱 ナイジェリア	3月14日現在のナイジェリアCDC報告によると、1月以降、254人（うち129人は診断確定）が感染し、137人が死亡（疑い例を含む）。死亡率は53.9%。
18日	腸チフス ジンバブエ	ハラレで40人の確定患者と600人の疑い患者が発生。3月15日、広報担当は、地域での感染予防活動強化を発表。
14日	麻疹、百日咳 ナイジェリア	3月13日、ジガワ州のSuletankarkar地域のMaizare村で、5歳以下の6人の子供が麻疹あるいは百日咳で死亡と発表された。
8日	蚊の侵入 ニュージーランド	3月3日、オークランド空港で外来種の蚊の幼虫を捕獲。ネッタイシマカと確認した。2007年と2010年には、南太平洋からの着船で幼虫が発見されている。
6日	E型肝炎 インド	ムンバイ中央駅近くの公立病院で、この1か月間に20人以上の職員が感染し黄疸を発症。2月に職員1人が感染死亡したが、病院は居住していたBadlapur地域で感染したと発表。現在、医師2名入院中。
5日	有機リン中毒 マレーシア	Perak州のBatu Gajah地域で、食中毒事件により2歳から71歳までの37人が入院し、うち4人は危険な状況。州の健康局は、患者は屋台で有機リン系殺虫剤が入った食品を食べたと発表。
5日	髄膜炎菌による髄膜炎 イタリア	トスカーナ州の昨年から続く流行により、2016年1月から2月26日までに10数人発症し、4人死亡。2015年は31人発症し、うち6人死亡。2014年は2人発症、2013年は3人発症した。患者数増加により青年・成人・高齢者まで予防接種の広報を行う。
4日	鳥インフルエンザH5N1(家禽) ベトナム	Tra Vinh省の高病原性鳥インフルエンザH5N1のアウトブレイクにより、700羽以上の鳥が死亡し、300羽が殺処分された。